

猛暑を乗り越えた野菜たち

株式会社榎戸材木店
会長 榎戸 正 人

この3年間、年々夏の暑さが厳しくなり、米や野菜の収穫にも影響が出ています。以前は品種改良で寒さに強い米が求められていたのが、ここに来て暑さに強い品種が作られ、栽培が始まっています。

しかし、野菜は暑さに強い品種改良はまだまだ始まったばかりで、米と異なり育てる場所は変えられるのだから、涼しい土地で作り、植える野菜の種類を変えることで対応しています。しかし、キャベツや白菜は生育環境が限られ、ビニールハウスで栽培されるキュウリやトマトなどは、そう簡単に別の野菜に変えるわけにはいきません。そのために時期によっては極端な品不足になり、価格が高騰しました。

我が家の家庭菜園も、例年植えて育てているキュウリは8月初めに暑さが増すと枯れてしまい全滅。プチトマトも花は咲くのに実がならず、8月半ばには枯れ始めてしまいました。水はちゃんと毎日撒いているのに、地面の温度が高過ぎるのが枯れた原因らしく、農家でもトマトは変色、生育不良など大きな被害が出たようです。

そんな過酷な環境の中でも、もともと暑さに強い野菜たちは元気いっぱい。トウガラシ、シシトウ、オクラは超高温野菜で、40℃を超える気温でも枯れることはありません。むしろ、暑さを喜んでいるかのようです。

写真の花はオクラ。その綺麗さから、家の中で観葉植物として育てる人もいるくらいです。もちろん、出来た実は食べるのでしょうか。例年ですと9月半ばまでが収穫時期なのですが、今年は10月になっても花が咲き、実をつけていました。

暑いのが大好きなトウガラシは沢山の実をつけて、強い日差しの中で真っ赤に熟しています。こちらも普通は9月半ばには枯れ始めるのですが、それどころか今でも元気に花を咲かせ続けています。あまりの大量の収穫で、どうやって食べようか迷っています。毎日、激辛カレーを作らなくては。

来年も猛暑になるのでしょうかから、キュウリとトマトは諦めて、高温に強い野菜だけを植えようかと考えています。暑さに強いトマトの苗って、作ってくれないかなあ……

やはり、トマトとキュウリは家庭菜園の常連ですからね。育てるのも食べるのも、楽しい野菜です。



オクラの花



大量収穫のトウガラシ